

中学校ごとに工夫を凝らして日本文化を英語で紹介する団員たち
= 8日夜、坂井市三国運動公園健康管理センター



英ホスト家族に会えた

坂井・中3生25人 オンライン交流

コロナで派遣中止

鍛えた英語 日本紹介

新型コロナウイルス感染防止のため中止となった坂井市英国派遣団の中学3年生25人は8日夜、訪問するはずだった英ウェールズ・カーディフ市のホストファミリーとオンラインで交流した。団員は訪問に向けて鍛えた英語力を試し、海を越えて友好を深めた。

(伊豆倉知)

今年3月の訪問に向け、半年近くで9回の研修を重ねて英語力向上や現地の情報収集など準備を進めた経緯があった。オンライン交流は、成果発表の場をつくりたいと考えた坂井市教委が企画し、三国運動公園健康管理センターで行った。交流には20のホストファミリーが参加した。団員は中学校ごとに分かれ、正月

遊び、漢字、空手などの日本文化を大きなイラストや実演を通して分かりやすく英語で紹介。「いつかウェールズに行つて、皆さんに会いたい」など一人一人が自己紹介を兼ねて語り掛け、最後に団員とホストファミリーみんなでウェールズの国歌を歌った。坂井市を今夏訪れる予定だったホストファミリーも

いて、残念な思いを伝える一方で、団員が一生懸命考えて工夫を凝らした発表に「すてきなプレゼンテーションをありがとう」と感謝の気持ちを語った。交流に先立ち解団式が行われ、代表の5人が「この研修は無駄だったとは一切思っていません。研修で得たことはこれからの人生で役に立つ」「この1年間のメンバーとの活動はこの先忘れません」など思いを述べた。